

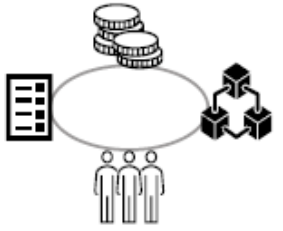


# 産・官・学共創のまちづくり

2025/12/2



- 昨年度より産官学民が連携する推進体制を立ち上げ、更に今年は取組を強化中です

出典：「総務省地域社会DX推進パッケージ事業（推進体制構築支援）各支援地域からの中間報告」（2025年10月27日）より抜粋

	課題	実施概要	イメージ
継続強化	産官学民での地域DX推進の取り組みを継続させるための計画策定とリソースの増強	<b>産官学民の組織強化・拡大検討に関する支援</b> <b>島根県</b> P2～3 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 推進体制の発展を見据えた中長期計画を策定、及び中間支援組織設立に向けた検討</li> <li>➢ J-クレジットを活用した資金調達、及びGX授業実施による地域農家の巻き込み支援</li> <li>➢ DX推進に係る取り組み創出に関する人材育成等</li> </ul>	 <p>地域DX推進の取り組みを継続させるための計画策定、研修・資金調達の実践</p>
	関係人口DXの地域間連携や県内展開ノウハウが不足	<b>海士町の関係人口DXの県外展開に関する支援</b> <b>海士町</b> P4～5 <b>海士町の関係人口DXの横展開の取り組みに関する支援</b> <b>江津市、浜田市、川本町</b> P6～7 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 関係人口DXの広域連携仕様を策定し、実装計画の立案と自走体制の構築</li> <li>➢ 地域特性把握や地域毎の施策の効果検証ノウハウを獲得し関係人口DXの広域連携を実現</li> </ul>	 <p>関係人口 島根県 昨年度事業で実施した地域DXの横展開</p>
新規	横展開を見据えた多種多様な分野での地域DXの取り組みが不足	<b>データサイエンスの取り組みに関する支援</b> <b>デジタルデバйд対策の取り組みに関する支援</b> <b>出雲市</b> P8～9 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 産官学民連携による継続的なDX推進体制を構築</li> </ul> <b>中山間地域の継続的なモビリティの確保に向けた課題整理及び展開に関する支援</b> <b>島根県・美郷町</b> P10～11 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 継続的なモビリティの確保に向けた課題整理およびモビリティ検討会の企画</li> </ul>	 <p>新規 モビリティWG 関係人口WG デジタル拠点推進WG データサイエンスWG デジタルデバйд対策WG GXWG 多様な分野で地域DXの取り組みを実践</p>

- 「住民・産官学」共創のまちづくりは、様々なまちの関係者と共に進める仕組みが必要です

## データに基づく施策遂行の仕組み

### 施策コンセプト案策定

- 課題抽出～最適な解決策の検証を可能とするコンセプトの策定



### まちのデータ、住民の声

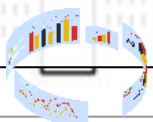
- 住民の声に寄り添い可視化
- 施策の効果を検証できるデータ収集する基盤整備



データを  
活用した  
まちづくり

### データ分析・利活用

- データを基に施策の効果検証と改善施策を立案
- 分析データの定点的なモニタリングにより変化を読み取る



魅力あるまちの実現

## まちの声が集まる仕組み

### 住民・企業の巻き込み

- 理想的なまちづくり実現に向けて公民が一体となった推進体制



住民との  
コミュニティ  
による  
まちづくり

### 住民向けコンセプト案策定

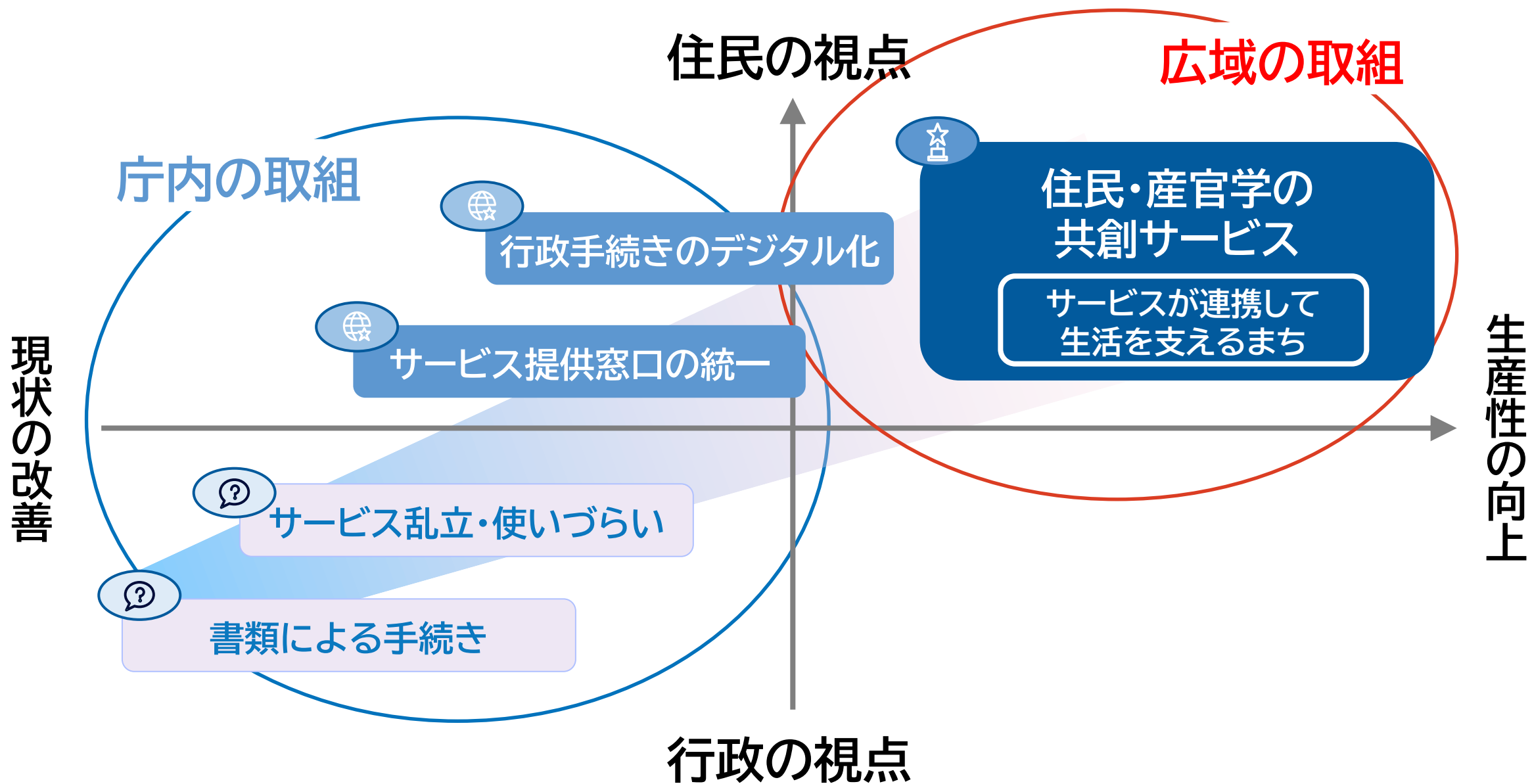
- 住民と地元企業の利便性向上を目指したコンセプトの策定



### 施策実行・評価

- コンセプトに沿った施策を実行・評価し、更なる取り組みへフィードバック

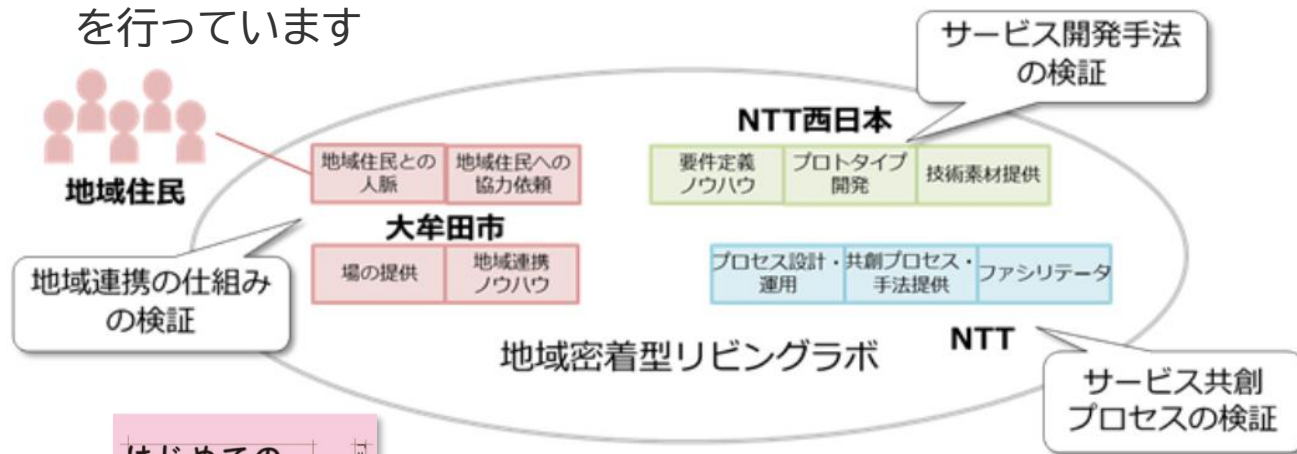




- NTTグループでは、地域・住民(生活者、自治体、企業、NPO、教育機関等)を主役とする仕組みづくり・取組として、地域密着型リビングラボやSSPPなどのプログラムを展開しています

## 地域密着型リビングラボ

地域住民をサービス利用者ではなく、一緒にサービスを共創するパートナーとして捉え、地域住民の生活(リビング)の中で本質的な課題の探索や発見、解決策の検討や検証(ラボ)を行っています



## はじめてのリビングラボ

「共創」を生みだす場のつくりかた



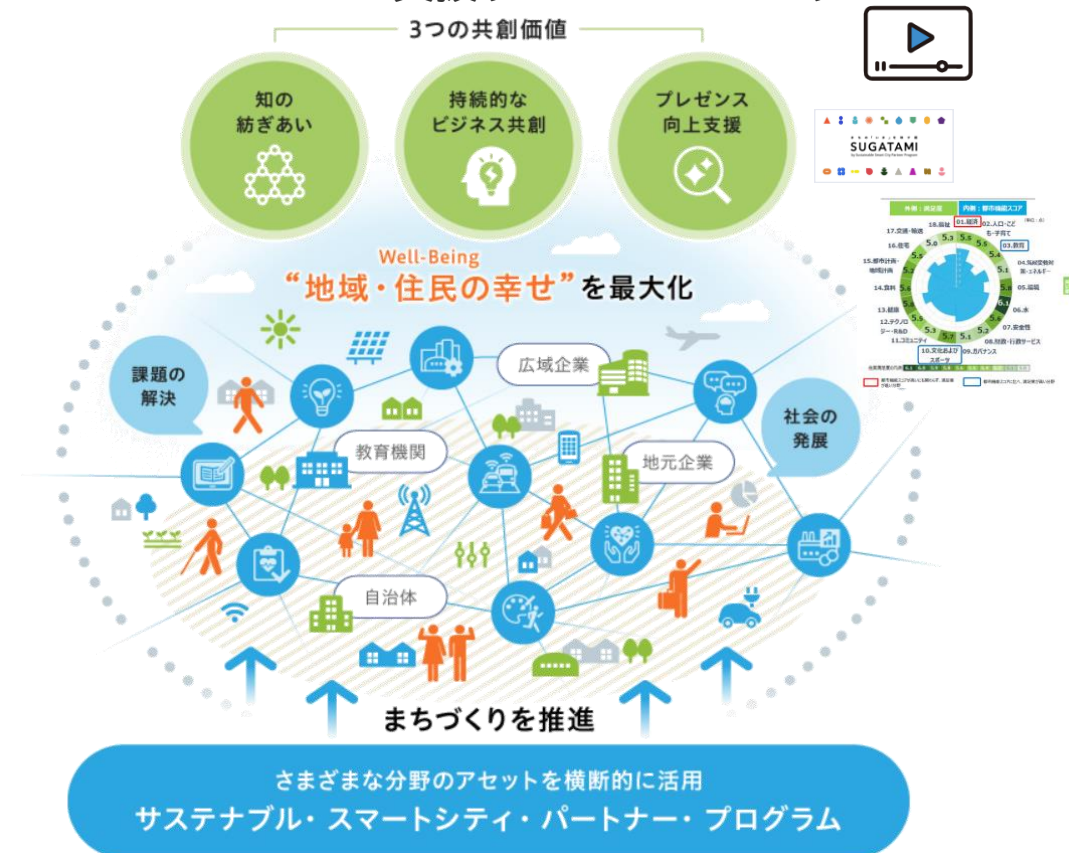
木村篤信／安岡美佳 著 NTT出版

発売日 2025.4.20

## SSPP

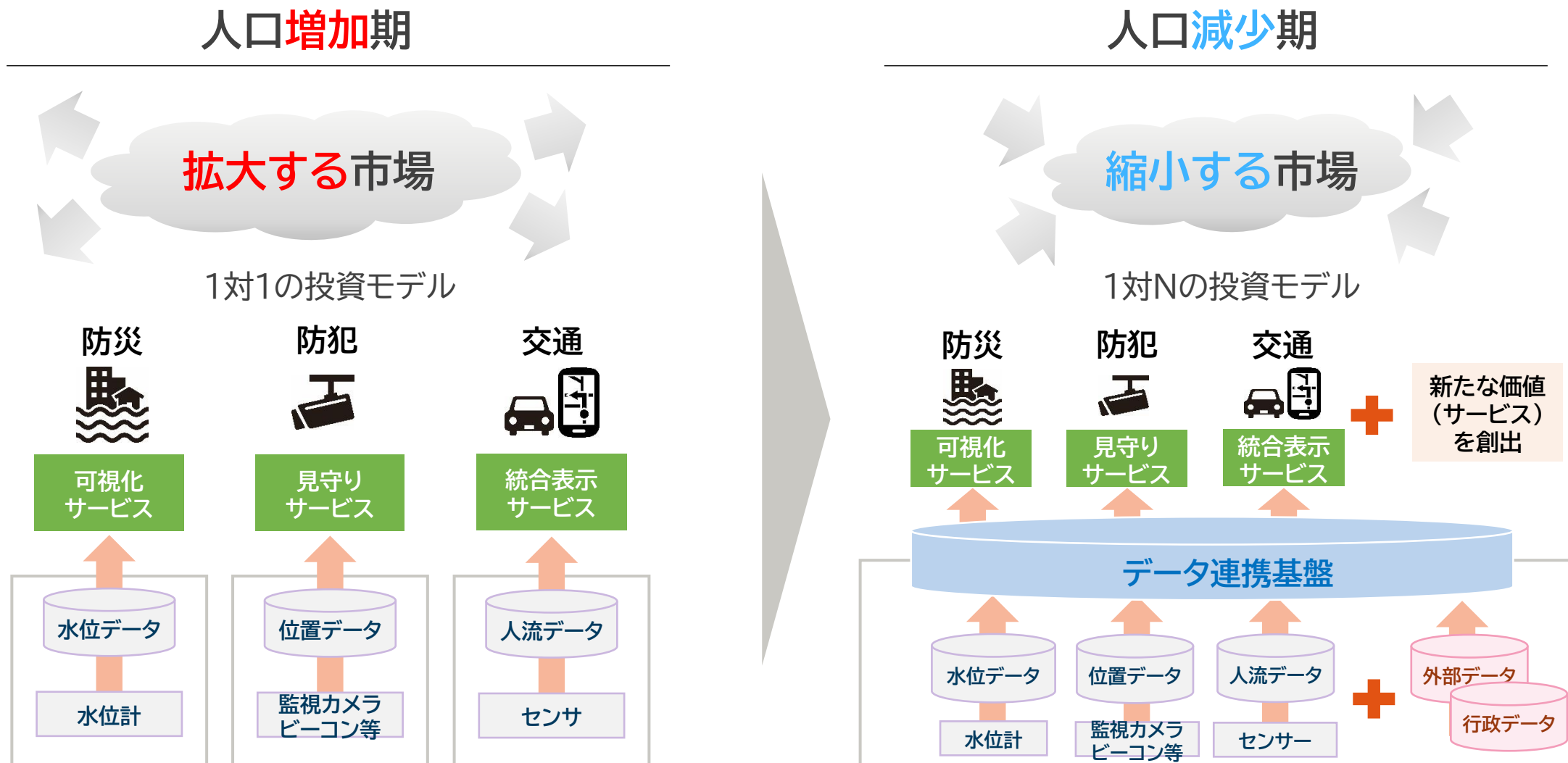
(Sustainable Smart City Partner Program)

地域・住民の幸せ(Well-being)の最大化を目的とし、これからのまちづくりを支援するプログラムです





- これからの人口縮小期においては、共用できるものを共同で投資していくことが求められています



- パーソナルモビリティ・無人貸出システム実装により、地域を面的に回れる手段を提供しつつ、観光地含めたエリア全体の地域回遊性、エリア滞在時間の可視化を実施
- 訪日外国人、国内観光者の属性・利用実態を解析し、地域交通のオーバーツーリズム対策、観光施策の立案に活用

## 利用者(訪日外国人含む)への提供価値

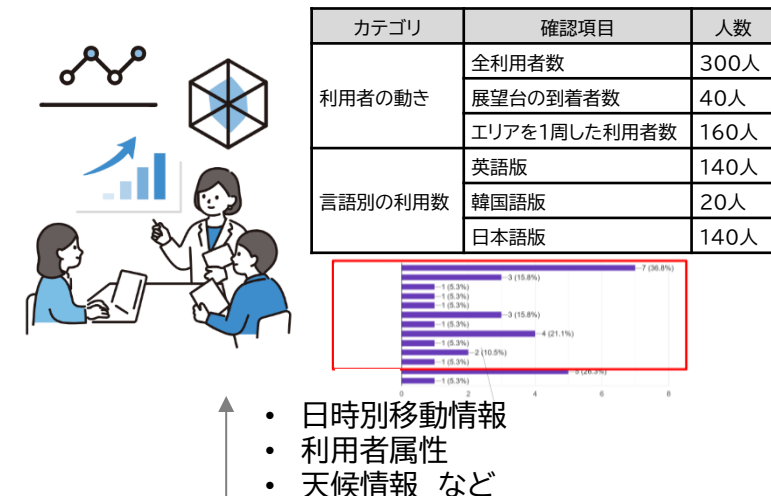
### 移動自体が「楽しい」「周遊できる」価値体験



## 自治体さまの価値

### 訪日外国人を含む回遊施策等への活用

- 利用者の属性・訪問地データの取得・分析
- Wi-Fi・携帯GPS人流データでは不足する地域回遊性を把握し、地域観光施策検討に活かす



## データ連携基盤

- 日常利用するツール(公共施設チェックインなど)を、有事での避難所運営や情報配信などに用いることで、住民にとって、自然なかたちで被災者支援を受けられる環境を実現

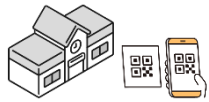
## 平時(日常利用)

## 有事(発災～復興)

### 日常利用

### 平時での備え

#### A 住民の日常生活での活用



- 公共施設  
チェックイン
- 地域通貨の利用



#### B 住民への防災関連情報の配信 パーソナライズ情報の紐づけ



- 防災関連情報発信
- 基本4情報と薬歴情  
報のID紐づけ



### 簡易な避難所チェックイン

### 避難所運営支援や情報配信

#### A 日常利用アプリを活用 した避難～被災者支援



- QRコードによる避難  
所チェックイン
- 罹災証明等情報確認



#### B パーソナライズ情報を 用いた円滑な避難所運営



- 避難所物資配備、  
自治体運営支援
- 自治体毎の罹災者  
支援情報等の配信



チェックインに応じた  
地域ポイント付与

施設チェックイン情報  
決済情報 等

マイナポータルから取得した  
住民の各情報(薬歴情報・  
要配慮情報)

避難所チェックイン情報  
罹災証明等情報の確認

必要物資の供給  
必要な情報の配信

## データ連携基盤

## 防災システム

新総合  
防災情報  
システム  
(SOBO-WEB)



さいごに  
メッセージ

